
令和 4 年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和 4 年 3 月 2 日

質問者（質問順）

- 1 久保和弘委員（公明党）
- 2 河治民夫委員（共産党）
- 3 大桑正貴委員（自民党）
- 4 大岩真善和委員（立憲党）
- 5 こがゆ康弘委員（民主フ）

局 別 審 査

1 久保和弘委員（公明党）

1 令和4年度都市整備局予算案について

（1）令和4年度予算編成の考え方について伺いたい。

2 国際園芸博覧会の輸送アクセスについて

（1）輸送アクセスの考え方について伺いたい。

（2）シャトルバス輸送を検討する上での課題について伺いたい。

（3）シャトルバスの発着駅について伺いたい。

（4）令和4年度の検討内容について伺いたい。

（5）会場周辺の渋滞対策について伺いたい。

（6）環境に配慮した輸送の考え方について伺いたい。

3 旧上瀬谷通信施設のまちづくりと交通について

（1）環境影響評価手続の状況について伺いたい。

（2）旧上瀬谷通信施設に残る景観や環境の保全方法について伺いたい。

（3）上瀬谷の雨水調整池の計画について伺いたい。

（4）上瀬谷の公園区域内における雨水調整池の計画について、伺いたい。

（5）豊かな自然環境を生かしていくための取組について伺いたい。

（6）上瀬谷のまちづくりに伴う周辺地域の交通の充実について伺いたい。

（要望）これから発生する需要は当然のこと、地域生活の足に資する交通体系の実現に向けて、検討を進めていただきたい。例えば、新たな交通については、地域交通の充実を大前提とした上であれば、上瀬谷以北への延伸などの検討を進めることも要望する。

4 二ツ橋北部三ツ境下草柳線等沿道地区土地区画整理事業について

(1) 第1期地区の進捗状況と今後の見通しについて伺いたい。

(2) 第2期以降地区における安全確保、災害対策等に向けた取組について伺いたい。

(3) 第2期以降地区の事業化の考え方について伺いたい。

(要望) 第1期地区はもとより第2期以降地区も、瀬谷区の道路状況や地域交通を改善するため、さらには市民の安全・安心などの観点から重要な事業であるので、引き続きしっかり取り組んでいただくことを要望する。

5 瀬谷駅南口第1地区市街地再開発事業について

(1) 駅前広場の完成時期及び乗り入れる路線バスの調整状況について伺いたい。

(2) 再開発事業実施に伴う整備効果検証の進め方について伺いたい。

(要望) 特にバリアフリー環境についてもしっかりと聞いて、今後の事業にも活かしていただきたい。

(3) 瀬谷駅南口におけるまちづくりの今後の展開について伺いたい。

(要望) いまだ狭あい道路が多く残る地区もあり、防災性の向上や既存の商店街との共存共栄の視点を重視して、事業区域だけでなく地区全体の発展への一層の取組を要望する。

6 地域交通の充実について

(1) 公共交通利用促進に向けた取組について伺いたい。

(2) 地域で移動手段を確保するためのパンフレットの活用について伺いたい。

(3) 令和4年度予算における実証実験の概要について伺いたい。

(4) 地域交通の充実に向けた取組について伺いたい。

(要望) 高齢化による郊外部の市民の暮らしの変化を踏まえると、地域の実情にあった、また、地域に根差した地域交通の早期実現を要望する。

7 可動式ホーム柵整備事業と相鉄・東急直通線開業後の運行計画について

(1) 市内駅における駅及び番線単位での整備状況について伺いたい。

(2) 相鉄線における可動式ホーム柵整備の予定について伺いたい。

(要望) 相鉄・東急直通線の開業を契機とし、一日も早い整備の実現に向けて横浜市として積極的な働きかけをしていただきたい。

(3) 相鉄・東急直通線開業後の横浜駅方面への運行計画について伺いたい。

(要望) 利用者の視点に立った運行計画や運賃体系となるよう、横浜市から相模鉄道に対し働きかけていただくことを要望する。

8 地下鉄高島町駅周辺歩行者環境改善方策について

(1) 令和3年度の調査から見えた課題について伺いたい。

(2) 課題解決のための方策について伺いたい。

(3) 令和4年度の取組の進め方について伺いたい。

(意見) 地元の方々の意見も伺いながら、しっかりと進めていただきたい。

9 新たな地震火災対策について

(1) 地震火災対策の取組の進捗と減災目標の達成状況について伺いたい。

(2) 地震火災対策の振り返りを踏まえて明らかになった課題について伺いたい。

(3) 新たな地震火災対策の目標設定の考え方について伺いたい。

(4) 地震火災のリスクを正しく認識し、対策の必要性を実感してもらうために具体的な取組を進めるべきと考えるが見解を伺いたい。

(要望) 平時から復興の視点を加えて、将来の被災を想定した速やかな復興準備を進めておくことも重要と考える。例えば、事前に被災後の具体的なまちづくりのイメージを検討しておくなど地震火災対策を刷新し、より実効性のある計画とすることを要望する。

1 東高島駅北地区開発事業について

(1) 多額の補助金について説明されたい。

ア 補助金割合が54%で半分以上を占めるが高いと思わないか伺いたい。

(2) 建設されるマンションは周辺住民の住環境を悪化させないか。また、周辺住民は納得しているか伺いたい。

(3) 神奈川台場等の文化遺産の保存はどうか伺いたい。

(4) 補助金を減らす等、事業者により負担を求めるべきと考えるが見解を伺いたい。

2 旧上瀬谷通信施設地区整備事業について

(1) 環境保全や生物多様性の担保について伺いたい。

(2) 汚染土壌対策は、地元の懇談会の要望である①汚染土壌の完全除去②工事への住民の立ち会い許可 ③業者の公表、処分場の公表 ④公選による委員会の設置を行うべき、と言われているが、どのように進めていくのか伺いたい。

ア 工事はどこの管理で行うのか伺いたい。

イ 横浜市で行うのか、国で行うのか伺いたい。

ウ いずれにしても、横浜市がやるということであれば、市民の要求に沿って進めるべきだと考えるが、見解を伺いたい。

(3) テーマパークでの年間1,500万人の来訪者の実現性はどうか伺いたい。

ア 三菱地所からの構想プランは、どのようなことまで出されているのか伺いたい。

(4) 株式会社横浜シーサイドラインに事業参画を要請するも拒否されたが、今後どうするのか伺いたい。

(5) 莫大なお金をかけても、瀬谷駅～上瀬谷駅において途中駅はなく、地域住民への恩恵がない。地域住民は利便性のある交通を要望しているが見解を伺いたい。

ア 現実性が見えないが見解を伺いたい。

3 国際園芸博覧会推進事業について

(1) 国の検討会の報告書では、「新型コロナ禍を経た新しい価値観に基づき、社会や都市のあり方について論議し、地球の自然環境を支えている植物に関する博覧会として、新たな時代に何を発信すべきか、検討、具体化が必要である。」とあるが、どのように論議されているのか伺いたい。

ア 具体化について伺いたい。

イ 環境面ではどうか伺いたい。

(2) 報告書では、「園芸博に必要となる施設等の整備方針、園芸博覧会の成否を図る指標について具体的な検討が必要である」とあるが、どう進んでいるのか伺いたい。

ア 先ほどの報告は指定項目に当たるのか伺いたい。

(3) 有料入場者が確保できない場合は大きな損失となるが、どのように達成するのか伺いたい。

(4) 園芸博が赤字にならない工夫について伺いたい。

ア 有料入場者数1,000万人を目標とすることだが、どのように達成するのか市民に示せていないと考えるが見解を伺いたい。

4 災害に強い安全で安心な都市づくりについて

(1) 感震ブレーカーの普及が進んでいない理由について伺いたい。

ア 普及を広げるためにどのような取組をしているか伺いたい。

(2) 感震ブレーカーは公平性の面から全市対象にすべきだと考えるが見解を伺いたい。

5 鶴ヶ峰駅北口周辺地区について

(1) 現行の都市計画道路はどうなるのか伺いたい。

6 希望ヶ丘駅周辺のまちづくりについて

(1) 課題解決のための手立てが必要と考えるがどうか伺いたい。

(要望) 郊外部のまちづくりに力を入れていただきたい。

3 大 桑 正 貴 委員（自民党）

1 都市デザイン50周年について

- (1) 都市デザイン50周年記念事業における今年度の取組状況について伺いたい。
 - (2) 今後の都市デザインについて、どのように検討を進めていくのか伺いたい。
- (要望) 今後も、横浜の魅力をさらに高めていくための都市デザイン行政を進めていただくことを要望する。

2 都心臨海部の回遊性向上に向けた取組について

- (1) YOKOHAMA AIR CABIN開業が、まちへもたらした影響について伺いたい。
 - (2) 桜木町駅前交通広場の再整備に期待する効果について伺いたい。
- (意見) YOKOHAMA AIR CABINの開業や桜木町駅前広場の再整備により、来街者にとってまちを回遊するための選択肢が大きく広がった。このように、回遊性の向上に向けた様々な取組が進むことにより、都心臨海部の魅力向上に繋がるものと大いに期待している。
- (3) 都心臨海部の回遊性をさらに高めていくことが重要だと考えるが見解を伺いたい。
- (要望) これからも、一層のまちの賑わい創出に向けた取組を進めていただきたい。

3 都市計画マスタープランの改定について

(1) 改定の検討状況について伺いたい。

(2) プラン改定にあたり重視している点について伺いたい。

(要望) これまでの都市づくりを踏まえるとともに、これからの社会の潮流も捉えたプラン改定を進めていただきたい。

(3) 「横浜が持続的に成長・発展していくためには、地域特性を生かしながら、都心部と郊外部の都市づくりにバランスよく取り組むべき」と考えるが見解を伺いたい。

(要望) 横浜の持続的な成長と発展につながるように、プラン改定の検討を進めることを要望する。

4 大船駅北第二地区市街地再開発事業について

(1) 再開発事業の現在の進捗状況について伺いたい。

(2) 再開発事業によって期待される整備効果について伺いたい。

(3) 再開発事業の完成に対する所感について伺いたい。

(意見) 事業の完成により、大船駅周辺がますます発展していくことを期待する。

5 中山駅南口地区市街地再開発事業について

(1) 令和3年度予算が減額補正に至った理由について伺いたい。

(2) 事業推進上の課題をどう認識しているのか伺いたい。

(3) 今後の取組方針について伺いたい。

(要望) 中山駅南口の長年の課題解決や、より良いまちづくりの実現に向け、横浜市がリーダーシップを発揮して地元や関係者を一つにし、事業を前に進めていただくことを強く要望する。

6 国際園芸博覧会と旧上瀬谷通信施設のまちづくりについて

(1) 園芸博の内容の検討状況について伺いたい。

(2) 上瀬谷の自然環境を生かした会場構成の考え方について伺いたい。

(3) 基本計画の策定にあたり、市民意見を取り入れていくのか伺いたい。

(4) どのように園芸博の情報を発信していくのか伺いたい。

(要望) 2027年の開催に向け、丁寧に準備を進めるよう要望する。

(5) 新たな交通の実現に向けた課題認識について伺いたい。

(6) 新たな交通の今後の検討をどのように進めていくのか伺いたい。

(要望) 検討の際には、より良いものとなるよう、新たな技術の活用なども含め、
しっかりと検討していただきたい。

(7) 上瀬谷のまちづくりの効果について伺いたい。

(8) スピード感を持って上瀬谷のまちづくりを進めるべきと考えるが、見解を伺
いたい。

(要望) 解決する課題も多岐にわたり難しい事業だと思うが、横浜の将来にとっ
て非常に重要な取組である。全庁を挙げて、ぜひ取り組んでいただきたい。
そして、人口減少、高齢化のさらなる進展により、厳しい財政状況が続く中、
将来にわたり横浜経済の活性化を図っていく視点からも、この上瀬谷のまち
づくり、そして園芸博を成功させることを強く要望する。

4 大 岩 真善和 委員（立憲党）

1 都市デザイン行政・50年の功績について

- (1) 当時の企画調整室や都市デザイン担当が担った、横浜の魅力づくりにおける功績について伺いたい。
- (2) 全庁を挙げて取組を進めるには横断的な体制が必要だと考えるが、見解を伺いたい。

2 都市デザイン・緑の軸線について

- (1) まちづくりの観点から、大通り公園をどのように活かしていくのか伺いたい。
- (2) 昨年実施した社会実験の内容とその成果について伺いたい。
- (3) 「緑の軸線」全体の魅力向上に向けて、旧市庁舎街区から日本大通りにかけてのまちづくりをどのように進めていくのか伺いたい。

3 みなとみらいの新たなエリアマネジメントについて

- (1) みなとみらいでのエリアマネジメントの活動実績と今後の展開について伺いたい。
- (2) 都市整備局が中心となって関係局と連携したエリアマネジメントを進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

4 市街地開発事業による駅前広場整備について

- (1) 市街地開発事業によって、駅前広場がどの程度整備されてきたのか、また、市街地開発事業による駅前広場の最近の整備事例について伺いたい。
- (2) 市街地開発事業によって駅前の整備を進める際の課題について伺いたい。
- (3) 郊外部の活性化を図るためにも、これからも市街地開発事業により駅前広場を着実に整備することが必要と考えるが、見解を伺いたい。

5 鉄道地下化に伴う鶴ヶ峰駅周辺の新たなまちづくりについて

(1) 現状の地区の課題とまちづくりのスケジュールについて伺いたい。

(意見) ズーラシアへのアクセス性向上は、地域活性化に繋がる。新たなまちづくりにズーラシアの要素を取り入れるなど、拠点間が連携するアイデアがあるべきだと考える。

(2) 地区の課題に向けた対応について伺いたい。

(3) 鉄道軌道跡地を活かした市有地活用の考え方について伺いたい。

(意見) 大和駅や下北沢駅など、他都市の事例を担当者の方々が視察に行った方がいいと考える。

6 郊外部の新たなまちづくりについて

(1) ヨコハマ市民まち普請事業がもたらしてきたこれまでの効果について伺いたい。

(2) まちづくりの初動期における地域への支援の仕方について伺いたい。

(3) 市内の事業者がまちづくりに関わる機会を増やしていくべきであると考えますが、見解を伺いたい。

(要望) 新たな公民連携の仕組みをデザインし、郊外部のより良いまちづくりを進めていただくことを要望する。

7 旧上瀬谷通信施設の新たな交通について

(1) 新たな交通のこれまでの検討状況について伺いたい。

(2) コストを抑えつつ、まちづくりに見合った新たな交通を検討すべきであると考えますが、見解を伺いたい。

(要望) 検討にあたっては、高知県阿佐海岸鉄DMV、三陸気仙沼線大船渡線BRT、名古屋ガイドウェイバスなど、様々な事例も参考に進めていただきたい。

(要望) 隣接する旭区、特に高齢化が進む若葉台が抱える交通課題を解決する手法の一つになると思う。しっかりと検討していただくことを要望する。

8 国際園芸博覧会が目指す新たなビジョンについて

- (1) テーマを踏まえ、どのような国際園芸博覧会にしていくのか伺いたい。
- (2) 園芸博は上瀬谷だけではなく会場外を含む市内全域での展開や、開催前からのイベントや新たなチャレンジ、仕掛けづくりが重要だと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 本市が進めているSDGs未来都市、サーキュラーエコノミーなどの先進的な取組を世界に発信する絶好の機会だと考えるが、見解を伺いたい。

1 まちの不燃化推進事業について

- (1) 建築物不燃化推進事業の進捗状況と補助の実績について伺いたい。
 - (2) まちの不燃化推進事業の促進に向けた対策について伺いたい。
 - (3) まちの防災広場の整備を進める上での課題について伺いたい。
 - (4) まちの防災広場の整備をより促進するための取組について伺いたい。
- (要望) まちの防災広場の整備促進のために、例えば土地の貸付期間の条件を10年から5年に短縮したり、制度の対象エリアを全市に拡大するなど、様々な工夫をすることを要望する。

2 関内駅周辺地区のまちづくりについて

- (1) 港町民間街区の検討状況について伺いたい。
 - (2) 関内駅前の交通広場整備の考え方について伺いたい。
 - (3) 駅周辺の拠点開発に合わせた歩行者の回遊性向上に向けた取組について伺いたい。
- (要望) 今後は、関内駅周辺の拠点整備や回遊性の向上に取り組んでいただくことを要望する。

3 神奈川東部方面線整備事業について

- (1) 相鉄・JR直通線の利用者数を確保するための取組について伺いたい。
 - (2) 相互直通運転にあたり、安全・安定な輸送を確保するための方策について伺いたい。
 - (3) 開業後のダイヤなど、運行計画は利用者目線で策定されるべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (4) 横浜方面へ人を呼び込むための取組について伺いたい。
- (要望) 神奈川東部方面線の2つの路線と既存路線が、多くの方に利用され、同時に市西部地域のにぎわいにつながるような取組を要望する。

4 旧上瀬谷通信施設のまちづくりについて

(1) 区画整理事業の今後のスケジュールについて伺いたい。

(2) 地権者との調整状況について伺いたい。

(3) 上瀬谷のまちづくりによる周辺地域のメリットについて伺いたい。

(要望) 必要な情報を市民の方々に適切に周知し、様々な市民の意見にも配慮しながらまちづくりを進めていただくことを要望する。

5 地域交通の取組について

(1) 都市整備局が行う実証実験の課題について伺いたい。

(2) 横浜市全体として令和4年度の地域交通に関する取組の進め方について伺いたい。

(要望) 縦割りになることなく、各局で行われる事業をメニュー化し、利用者目線でそれぞれの地域にあった方法を選択できるようにしていただきたい。また、各事業の違いで予算も異なるが、利用料の統一化や敬老パスの使用検討などについても、全体を俯瞰してあるべき姿の検討を行っていただくことを要望する。